

令和3年度第4回丹波市環境審議会

日時：令和3年11月29日（月）

10：00～12：00

場所：氷上住民センター 大会議室

出席委員

坂谷 高義、安田 真理、後藤 和敏、近藤 明、山科 ゆみ子、宮川 五十雄、
三浦 仁志、梅垣 守明、荻野 良子

欠席委員

足立 正典、足立 榮逸、横山 真弓、森本 佳宏、喜井 健二、三橋 弘宗、
足立 はるみ、中道 知代子

事務局職員

余田部長、田口課長、荻野係長、村上主事

委託業者

株式会社サーベイリサーチセンター 小林、西川

1. 開会あいさつ

- ・事務局より、委員9名出席により、会議成立の報告

会長：お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。本日は第2次丹波市環境基本計画の最終版ということで、非常に大事な会議になると思います。計画について活発なご討議をよろしくお願いいたします。

2. 協議・報告

(1) 第2次丹波市環境基本計画の見直しについて

- ・事務局より、資料の説明

（質疑応答）

委員：12ページに氷上回廊のコラムと地図があるが、水分かれのところに何か印を入れたらどうか。

事務局：入れるようにする。

委員：それから同じく12ページの文章に「キセキ」とカタカナで表記しているのはどうしてか。

事務局：丹波市立氷上回廊水分れフィールドミュージアムを紹介する際に、カタカナの「キセキ」を用いているので、その表現に合わせた形にしている。

「キセキ」にもたくさん言葉があるので、1つにしたくなかったのではないかと思う。軌跡や奇跡など、ミュージアムではそれぞれ紹介しているので、あ

えて漢字にせずに、色々な読み方があるということでカタカナにしたと思われる。それから、氷上回廊の水分かれの位置の指摘をいただいたが、氷上回廊自体の表記もないので、細かく入れるのは難しいと思われる。

氷上回廊、由良川と加古川水系の帯状にある。その絵を日本地図の下ぐらいいに入れて、その部分だけを拡大して入れるようにする。

委員：みんなが見た時にどこか分からない。見た人がどこか分かれば良いと思う。

委員：キセキについても、カッコか何かでくくって説明を追加してもらいたい。

委員：13 ページ、5 行目の「丹波市内の 5 箇所ではしか生息が確認されていません」となっているが、ここを「生息が確認されておらず、兵庫県では絶滅危惧種に指定されています」としてもらいたい。

事務局：修正する。

委員：44 ページの基本目標 1 「水産」を消しているが、これは前回の会議で消すことになったのか。

事務局：水産がないのではないかという意見があった。

委員：20 年ほど前に別の計画を作った時に、水産を消してお叱りを受けたことがある。アマゴの養殖とかの水産業があると。確か、加古川に漁業権が設定されているので、消すのはいかなものかというお叱りを受けた経験があるので、戻した方が良いと思う。

事務局：確かに、漁業があり、放流等もされている。元へ戻す。

委員：全般的なリクエストになるが、四角い囲みで色々なページに解説を入れていただいているが、できたらこういうところについて、四角の中だけで説明するのも限界があるので、自習していただくリンク先として、環境省、市のホームページとか、リンク先を加えていただきたい。限られたページから、少しでも理解を進めていただけることになると思う。それから 68 ページ、環境学習の推進で、取組指標として人数だけになっているが、人数や入館者数だけを追っかけるのはいい加減やめませんかと再三お願いしている。それぞれの施設で、入館者数以外の取組指標を次の環境基本計画では入れていただくよう、再度働きかけをお願いしたい。入館者数だけの数字目標にすると、取組が曲がっていくので、検討をお願いしたい。

事務局：リンク先は追加する。フィールドミュージアムなどの来館者数の指標については、質的なものを入れたらどうかという意見をいただいているが、積極的に講座を受講された方、受講者数を入れている。ミュージアムについても、イベントで館に来られた方の数値も今回は入れた。教育委員会にはそういう意見があったことは伝えさせていただいたが、今後において、例えばこんな指標を考えたい方が良いのではないかといい意見をいただけるとありがたい。

委員：取り組みへの参加人数自体は、館でもずっと追いかけてきた数字なので数字として良いと思うが、逆にイベントの取り組み数とかはブラックボックスになっている。積極的に色々なイベントとか活動をされているので、それも数の評価になると、年間どれくらいのイベントや展示をしているという形で、もう少し意味の

ある表現になるように考えてもらえるとうれしい。

事務局：例えば、企画展など、通常実施していないものをどれぐらいしたかというようなことだと思うので、少し考えさせてください。

会長：例えば小学生の数とか教育的に使われているとか。そういう形も考えられる。

委員：小学生の数の話が出たが、小学生であれば、例えば市内の全生徒数の分母に対する90%以上を目標にして、90%以上に何らかの知っていただく機会を提供したらA判定という形にすればいいと思う。小学生の人数は減っていく可能性があるので、比率で追っかけた方が、達成度合い評価できると思う。

事務局：今回はこれでさせていただきたい。

会長：書かなくても良いが、今後、カウントはできるのか。

事務局：例えば出前講座や小学校でも団体で来られる場合があるが、子どもの参加者数はカウントできると思う。

会長：そういったものを評価の時に出示していただければと思う。また、リンク先のURLの追加もお願いしたい。

委員：31ページの有害鳥獣捕獲の推移について、トータルの捕獲数で出示していただいているが、市役所であれば、種を分けて数字を持っていると思う。分けていただかないと環境対策はできない。シカとアライグマとハクビシンでまったく別の対策をするものが一緒になっていると、少し見づらい。比率を出示していただければ、読む人にも、シカとイノシシが圧倒的に多いけど、外来種のアライグマも一定数入っているとか、そういうことが分かるものがあつた方が良いと思う。

事務局：その数値を出すのは可能だと思う。例えば、令和2年度の数値のうち、外来種がどのくらいでシカがどのくらいか、区分けして表現できるよう検討する。

会長：SDGsのマークが44ページに掲載されているが、第4章にはない。これは掲載できないか。細かいところに対しても掲載していただくと、非常に良いと思う。そこまでやるのは難しいかもしれないが、基本目標のところぐらいは掲載してもらえればと思う。

事務局：44ページで、例えば基本目標1には5つ掲載をしているが、その中で、それぞれのものがどれかということか。

会長：そこまでできれば。主としてこれという形でも良いと思う。

事務局：検討する。

会長：46ページの体系図の掲載は、どんな図が掲載されるのか。

事務局：現行計画にあるが、項目ごとに整理した表を載せるイメージになる。また、最初のイメージ図を今回初めて入れたが、何かご意見があればお伺いしたい。

委員：資源を大切にするライフスタイルの定着の挿絵の中の、ゴミの分別しているところで、「もえるゴミ」と書いてあるが、市では「もやすゴミ」だと思う。

事務局：修正する。

15ページの人口について、国勢調査の結果が公表され次第、令和2年の数値は掲載させていただく。また、下の人口推計については、人口問題研究所の資料から掲載をしているが、丹波市では人口ビジョンを策定しているので、その

数値に差し替えたいと考えている。

会長：数字的にはどう変わるのか。

事務局：人口ビジョンの資料を確認させていただく。

委員：14 ページで、測候所のある柏原を代表地にした話がかかれていて、普通はこれだけで良いと思うが、丹波市の場合、青垣が特別豪雪地帯であることが特徴なので、「瀬戸内気候と内陸気候に属し」という表現だけでは表現しきれないところがあると思う。もし可能であれば、一般的ではないと思うが、青垣地域は豪雪地帯の地域の指定も受けていたと思うので、雪が非常に特徴的な地域も丹波市域に入っているということが分かる表現がある方が良いと思う。この数字だけだと雪が表現されていない。一般的な書き方ではないとは承知しているが、市を代表する場所なので、豪雪地帯を含んでいることを何か表現していただけたらと思う。

もう1つ、18 ページの農林業の状況で、兵庫県下で基礎自治体として農地の面積について、丹波市が兵庫県一ではないかという話を聞いた。きちんと確認はできていないが、もし1番なものがあるのであれば、書いていただいた方がうれしい。

事務局：積雪量は観測所があるので分かりやすいが通算だと難しい。少し考えてみる。

委員：積雪量を見ると明らかに雪国の入り込んだ地域の数値になっている。多雪とか、そういう雪国の特性も入り込んだのが丹波市だということが分かるような表現があるとうれしい。

事務局：検討する。

農業の経営面積は県下で1番だが、水稻面積は豊岡市に少し負けている。経営面積は、完全に丹波市が1番になっているので、それは表記できると思う。

委員：20 ページの地域環境の図について、冊子に掲載されている図の画質が悪いので、もう少し読みやすい画質に変えていただきたい。

事務局：画質の良い図を探してみる。

会長：あるいは環境省から直接提供していただいても良いと思う。

委員：インターネットで画像検索をするとき綺麗な画像が出てくるので変更してもらいたい。

会長：見やすいものに差し替えをお願いしたい。

事務局：13 ページの調査の写真について、これは高校生で良かったか。

委員：高校生で間違いない。小学生から参加しているが、写真は高校生だけなので。年齢層でいうと、保育園ぐらいから70代までが参加している。

事務局：もし提供いただけるような写真があれば、差し替えができればと思う。

委員：探してみる。

事務局：また、12 ページの写真についても、ミュージアムの漠然とした写真になっているので、具体的特徴的なものを拡大したような写真に変更したいと思う。

会長：全景ではなくて、展示物があるような写真に変更してもらえればと思う。また、38 ページの図も画質を上げられるようであれば変更してもらいたい。

事務局：確認する。

委員：51 ページの CSR 活動で、丹波市内の企業の CSR 活動は何社あるとか、だいたい把握されているのか。

事務局：把握はしていない。

委員：ここに CSR が載っているのので、できる能力がある企業ということにはなると思うが、実際にはどの程度の企業が CSR 活動をしているのか、ここには書けなくても把握してもらえたらうれしい。

事務局：把握できるかも分からないが、確認してみる。

会長：前回、ゼロカーボンシティの宣言についての話があったが、それについて何か進展はあるか。

事務局：宣言するのであれば何か大きな施策を打ち出さないといけないのではないかという意見もあり、現状まだそのままにしており、宣言するという言葉はまだ入れていない。

目指す社会づくりとか、宣言しますと言い切らずに、宣言ができるような社会を目指すとか、ゼロカーボンシティとかカーボンニュートラルという言葉も少し入れた方が良い気はするので、検討する。

会長：文章を考えてみてもらえたらと思う。

事務局：推計人口の部分について、人口ビジョンを令和 2 年 3 月に策定している。その数値を調べてきたが、現在掲載している数値からそう大きな差はないように思うので、市で決めている推計人口の数値に変更したいと思う。掲載の仕方や年齢階層も同じ区分で掲載したいと思う。

3. その他

- ・事務局より、今後のスケジュールについて説明
- ・議事録署名について、会長より安田委員を指名

副会長：本日はお忙しいところ、ありがとうございました。最近テレビでも環境問題で SDGs とか、脱炭素社会を目指そうということで、討論会とか各地の取り組みが身近に感じるが多くなりました。

関心はあっても、もっと身近に、やはり各自それぞれが気をつけないと、なかなか目標に到達するのは難しいと思います。例えば電気とか、本当に小さいことですが、各自ができることをやっていかないといけないということを、最近テレビですごく取り上げられて感じています。どうか皆さんもよろしく願いいたします。本日はこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。

4. 閉会